

沖縄県栽培漁業センターの概要

1. 沿革

- (1) 昭和55年～58年度 用地取得及び基本施設整備事業
- (2) 昭和58年4月 沖縄県水産試験場の支場として設置される（沖縄県行政組織規則第208条。昭和58年3月31日改正。組織の名称：沖縄県水産試験場支場栽培漁業センター）。
- (3) 昭和58年10月25日 開所式
- (4) 昭和59年度・昭和61年度・昭和62年度 増強施設整備事業（水槽上屋・加温施設・濾過施設等の整備）
- (5) 昭和63年4月 水産試験場支場の位置づけから独立。組織の名称：沖縄県栽培漁業センターとなる（沖縄県行政組織規則第208条の2。昭和63年3月31日改正）。

2. 組織

沖縄県農林水産部 —— 水産振興課 —— 栽培漁業センター

3. 庁舎の所在地

住 所：〒905-02 沖縄県国頭郡本部町字大浜 853-1

電話番号：(0980) - 47-5411 FAX番号：(0980) - 47-5412

最寄駅：本部半島線（名護バスターミナル発）大小堀駅下車徒歩3分

4. 運営方式

県 営

5. 職員及び主な担当業務

所 長	新 垣 盛 敬（総括）
主任研究員	村 越 正 慶（貝類種苗生産）
主任研究員	藤 本 裕（魚類種苗生産・飼付け型漁場管理技術開発）
主任研究員	渡 辺 利 明（甲殻類種苗生産・飼付け型漁場管理技術開発）
研 究 員	多和田 真 周（魚類種苗生産）
研 究 員	玉 城 信（甲殻類・棘皮類種苗生産）
研究助手 （臨時任用職員）	川 端 芳 宣（魚類・棘皮類種苗生産） （5.1～3.31）
主 任	稲 嶺 邦 枝（庶務・会計）

* 転入：新垣盛敬（水産業改良普及所）、多和田真周（水産業改良普及所）

転出：伊佐次郎（水産試験場）、嘉数清（水産業改良普及所）

山本隆司（水産試験場・八重山支場）

* 定数1名減

6. 受け入れ研修生名簿（研修開始時期順）

氏名	国名	期間	研修内容	派遣元
幸喜稔	日本	3. 1～1. 7	種苗生産技術全般	沖縄県宜野座村 栽培養殖漁業 研究会
山下秀幸	日本	6. 11～7. 10	タカセガイ及び ヤコウガイ等の 種苗生産技術	国際協力事業団 青年海外協力隊 （現：ボナベ）
Obichang Obi ORAK	ベラウ共和国	6. 18～7. 7	タカセガイ及び ヤコウガイの 種苗量産技術	国連食糧農業 機関
Moses John AMOS	バヌアツ共和国	6. 18～7. 7	タカセガイ及び ヤコウガイの 種苗量産技術	国連食糧農業 機関
Tupou Tu'avao TUPOU	トンガ王国	6. 18～9. 1	貝類の種苗 生産技術	国際協力事業団
赤星静雄	日本	6. 29～7. 27	貝類幼生用餌料 微小藻類の大量 培養技術	国際協力事業団 （現：エクアドル）
桑正幸	日本	7. 1～7. 31	シャコガイ及び タカセガイ等の 種苗生産技術	国際協力事業団 青年海外協力隊 （現：トンガ王国）

7. 種苗生産実績

- (1) 対象魚種：ハマフエフキ・オーストラリアキチヌ・マダイ・シマアジ・タイワンガザミ・タカセガイ・ヤコウガイ

(2) 魚種別、年次別種苗生産実績

魚種名	年次	平成2年	備考
ハマフエフキ		389.5 21.2~25.9	上段：千尾 下段：ミリ
オーストラリアキチヌ		0	-：実施せず +：少数生産 0：生産出来ず
マダイ		1,103.5 23.1~24.3	
シマアジ		0	
タイワンガザミ		820 3~5	
シラヒゲウニ		12 3	
タカセガイ		632.4 3~5	
ヤコウガイ		883.5 1	

(3) 種苗販売実績（上段：千尾、下段：千円）

平成2年度	
マダイ	862
5円/尾	4,310
ハマフエフキ	127
7円/尾	889
合計金額	5,199

8. 予算(令達)

単位：千円

区分	年度	平成2年度	備考
運営費		2,085	
生産事業費		27,236	
栽培漁業技術開発事業費		18,677 (4,086) (6,286) (8,305)	(事業名) 放流技術開発 地域特産種増殖技術開発 飼付け型栽培技術開発
沿岸漁業整備事業等調査費		2,042	
合計		50,040	

9. 施設の概要

(1) 敷地等

	基本施設	増強施設	その他	備考
敷地面積	11,067 m ²	0 m ²	0 m ²	県有地
使用海面	0 m ²	0 m ²	0 m ²	

(2) 建設事業費

	基本施設整備	増強施設整備	その他	備考
敷地取得費	169,000千円	0千円	0千円	
施設整備費	456,225	150,000		
環境整備	0	0	0	
合計	625,225	150,000	0	
(国庫補助金)	(243,750)	(75,000)		

(3) 建 物

施 設 名	規 模 ・ 構 造	面 積 (㎡)	備 考		
管 理 棟	鉄筋コンクリート	2階建	396		
採 苗 棟	〃	平屋建	252.4		
調 餌 工 作 棟	〃	〃	194.8	上屋貯水タンク	
機 械 棟	〃	〃	84		
ポ ン プ 棟	〃	〃	36		
車 庫	〃	〃	60		
飼 育 棟	鉄骨スレート、コンクリート水槽		774	加温装置付水槽	
濾 過 棟	FRP 自動逆洗式		6.72		32.4t/h・2基
貝類採苗施設(1)	軽量鉄骨ビニールハウス平屋建		225		
貝類採苗施設(2)	〃	〃	225		

(4) 池・水槽

① 容量総括表

飼 育 水 槽 (㎡)					餌料培養水槽 (㎡)			合 計
魚 類	甲殻類	貝 類	ウニ類	計	動物性	植物性	計	
400	258	82.5	104	844.5	450	670	1,320	2,164.5

② 用途別

用途区分	規 格 ・ 使 用 容 量 (㎡)			数 量 (面)		備 考
親 魚 水 槽	RC	φ 4.0m × 2.5m		30	5	魚 類
	FRP	5.0m × 1.2m × 0.85m		4	2	甲 殻 類
飼 育 水 槽	RC	4.0m × 7.0m × 2.0m		50	3	魚 類
	RC	φ 7.0m × 1.3m		50	2	〃
	RC	φ 10.0m × 1.3m		100	2	甲 殻 類
	RC	φ 7.0m × 1.3m		50	1	〃
	FRP	5.0m × 1.0m × 0.55m		2.75	30	貝 類
	RC	8.0m × 1.0m × 1.0m		8	3	ウ ニ 類
	FRP	5.0m × 1.5m × 0.9		6	4	〃
	FRP	5.0m × 1.2m × 0.85m		4	20	〃
餌料培養水槽	RC	4.0m × 7.0m × 2.0m		50	7	動 物 性
	RC	4.0m × 2.0m × 1.5m		10	5	〃
	RC	φ 7.0m × 1.3m		50	1	〃
	RC	10.0m × 7.0m × 2.0m		100	6	植 物 性
	FRP	φ 10.0m × 1.0m		70	1	〃

(5) 機械・設備

機 械 ・ 設 備	型 式 ・ 能 力	数 量	備 考
ポ ン プ	渦巻ポンプ 11KW 2.24m ³ /分 (全揚程20.8m)	3	
ブ ロ ヱ ー	アンレットルーツブロワー ① 11KW, 6.0m ³ /分, 0.6kg/cm ² ② 3KW, 1.15m ³ /分, 0.6kg/cm ²	4 (3) (1)	
ジエツト・ウオッシャー	11KW, 60.0kg/cm ² , 0.6ℓ/分	1	
発 電 機	100KVA	1	
冷 凍 ・ 冷 蔵 庫	冷凍 7.5KW (-35℃) 26m ³ 冷蔵 2.2KW (-10℃) 19m ³	1 1	
ボ イ ラ ー	400,000Kcal/h, 7.5KWポンプ 2基	1	
自 動 給 餌 機	0.045KW, 6ℓ/tank	6	
自 動 底 掃 除 機	0.4KW, 最大排水量 50ℓ/分	1	

(6) その他の設備

名 称	規 格 等	数 量	備 考
作 業 船	FRP 1.10トン 50馬力	1	
”	FRP 0.30トン 9馬力	1	
フ ォ ーク リ フ ト	2トン ディーゼル	1	
作 業 車	貨 物 車 2トン ディーゼル	1	
”	貨物乗用車 1,800cc ガソリン	1	
小 割 生 簀	5 m × 5 m	8	
沈 澱 池	素掘り石積み 375m ²	1	
取 水 管	ヒューム管 φ1.0m×93m	1	
棧 橋	鉄筋コンクリート 斜路41m, 長さ49m	1	

(7) その他関連事項

① 海水揚水量

日間揚水量 5,000 m³/日 (盛期)

日間揚水量 9,700 m³/日 (最大能力) 但し、全基を24時間連続運転の場合の数値

② 契約電力

契約容量 72KW/H

契約種別 業務用

(8) 施設の配置図

次頁に示した。

沖縄県栽培漁業センター施設配置図

